

入札公告

(説明書)

次のとおり一般競争入札に付します。

令和6年4月8日

社会福祉法人^{恩賜財団}済生会西条病院

院長 岡田 眞一

1. 入札概要

- (1) 件名
移動型X線撮影装置 一式
- (2) 内容
別紙「仕様書」による
- (3) 納入場所
済生会西条病院
- (4) 納入期日
令和6年6月末日

2. 参加する者に必要な事項

次に掲げる要件をすべて満たす者であること。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。
- (2) 参加資格確認申請日から入札実施日までの間、愛媛県知事が行う入札参加資格停止の期間中でない者であること。
- (3) 法人の支部長若しくは支部長の親族（6親等以内の血族、配偶者又は3親等以内の姻族）が役員に就いている業者など、法人の支部長が特別の利害関係を有する業者でないこと。
- (4) 本件の仕様に適合する物品であることを確認できる者であること。
- (5) 本件を納入期日までに納品することが可能な者（確約書要）
- (6) 200床以上の医療機関において業務委託実績を有すること。
- (7) 同一入札に親会社・子会社（会社法第2条第3号及び第4号に規定）の参加があった場合には入札を制限する。

3. 本件に関する事項等

- (1) 説明書等の配付場所及び問い合わせ先
済生会西条病院 事務長 矢野 泰利 又は 用度課（0897-55-5436）千谷
愛媛県西条市朔日市269-1
電話番号 0897-55-5100 FAX番号 0897-55-6766

(2) 説明書及び仕様書の配付

ア 配付期日

令和6年4月8日(月)～令和6年4月22日(月)

イ 配付場所

(1)に同じ。

(3) 入札実施日

ア 日時

令和6年4月24日(水) 11時00分～

イ 場所

済生会西条病院 2階講堂

4. その他の必要事項

(1) 本件において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨

(2) 保証金

保証金は免除する。

(3) 参加者に要求される事項

本件に参加を希望する者は、事前に参加資格確認申請書を提出すること。

なお、当該申請書の内容に関し、説明を求められた場合は、これに応じなければならない。

・提出書類

【4月22日(月)までに提出する書類】

参加資格確認申請書

登記簿謄本(写し)もしくは、官公庁入札参加証明書(写し)

直近年度分決算書(書式自由)

受託業務実績一覧

資本関係・人的関係書

【4月24日(水) 当日持参する書類】

委任状(代理人の場合のみ)

入札書(3ヶ所に割印・糊つけ封印した入札書用封筒に入れたもの)

入札書・封筒の予備(2回目以降分)

名刺

・提出先 3-(1)と同様

(4) 入札の無効

2に掲げる資格を有しない者が参加した場合

参加者に求められる義務を履行しなかった者が参加した場合

説明書に違反した場合

(5) 契約書作成の要否

要 契約に至った場合には速やかに契約書を作成すること。

(6) 落札者の決定方法

予定価格の範囲内で、最低価格を提示した者を落札者とする。

予定価格の範囲内の価格での入札がないときは、再度の入札を行う。(再度入札は最低価格を下回る金額を提示のこと。最低価格を下回る入札ができない場合は辞退となる。) 入札回数は3回を限度とし、予定価格の範囲以内にて同額の提示があった場合には抽選にて決定する。落札しない場合においては、最低価格提示者との見積もり協議に移行する。

(7) お願い

入札時、状況写真をとらせていただきます。目的を保管用としており目的以外に使用いたしませんのでご了承ください。

済生会西条病院 移動型 X 線撮影装置一式 仕様書

<性能, 機能に関する要件>

「移動型 X 線撮影装置」は、移動式 X 線撮影装置本体 1 式, 移動式 X 線撮影装置用 FPD1 式から構成され, 以下の要件を満たすこと。

1. 移動式 X 線撮影装置本体については, 以下の要件を満たすこと。
 - 1-1 X 線制御装置はインバータ方式であること。
 - 1-2 最大出力は 12.5kW 以上であること。
 - 1-3 最高管電圧は 120kV 以上であること。
 - 1-4. 最高管電流は 160mA 以上であること。
 - 1-5. 管電流時間積 (mAs) は 0.5~320mAs の範囲で設定する機能を有すること。
 - 1-6. 画像処理コンソール以外に X 線照射確認灯を本体に装備し, 装置から離れた場所でも容易に確認できること。
 - 1-7. 本体の撮影線量表示は NDD 法または面積線量値を使用すること。
 - 1-8. X 線管装置の焦点サイズは 0.7mm 以下であること。
 - 1-9. 陽極蓄積熱容量は 140kHU 以上であること。
 - 1-10. 絞り部に台車位置の微調整が可能な台車前後動スイッチを設けていること。
 - 1-11. 支柱の回転およびアーム上下動のブレーキは電磁ロック方式であること。
 - 1-12. 走行時の支柱高さは 1,800mm 以下であること。
 - 1-13. X 線焦点が X 線を下向きに照射する状態で床面より 2020 mm以上に設定する機能を有すること。
 - 1-14. X 線焦点が X 線を横向きに照射する状態で床面より 680 mm以下に設定する機能を有すること。
 - 1-15. 支柱旋回角度が±270 度以上であること。
 - 1-16. 水平軸回転は±180 度以上であること。
 - 1-17 X 線管装置の水平軸回転は-20 度以下から+90 度以上の範囲で設定する機能を有すること。
 - 1-18. X 線管装置の首振り機構は±90 度以上であること。
 - 1-19. 電動走行台車は, 電動による駆動方式であること。
 - 1-20. ブレーキ方式はハンドルを握るとブレーキが解除されるデッドマン方式であること。
 - 1-21. 最大走行速度は前進 5km/h 以上, 後進 2.5km/h 以上であること。
 - 1-22. 装置の前方に自動停止バンパーを有し, 障害物に衝突した際に自動的に駆動回路が遮断される機能を有すること。
 - 1-23. 車輪幅は 580mm 以下であること。

- 1-24. 重量は 400kg 以下（オプションを除く）であること。
- 1-25. 撮影・走行用の電源はバッテリー電源であり、バッテリーの充電量を表示していること。
- 1-26. 台車長が 1,285 mm以下（オプションを除く）であること。
- 1-27. コリメータでの本体移動操作が可能であること。
- 1-28. コリメータ背面に照射野調整つまみ及びランプ点灯ボタンを有すること。
- 1-27. 17×17 インチタイプの FPD が収納可能なこと。
- 1-26. FPD 用画像処理装置端末を搭載できるスペースを有していること。
- 1-27. 無線ハンドスイッチを装備すること。

2. 移動式 X 線撮影装置用 FPD については、以下の要件を満たすこと。

- 2-1. FPD は 17×17 インチタイプを 1 枚備えること。
- 2-2. X 線自動検出機能を有すること。
- 2-3. FPD は、有線・無線のどちらにも対応可能であること。
- 2-4. バッテリーは着脱式、または内臓型であること。
- 2-5. バッテリーが着脱式の場合は、バッテリー充電器は最大 2 枚以上のバッテリーを同時に充電する機能を有すること。
- 2-6. バッテリー残量を FPD 本体で確認する機能を有すること。
- 2-7. 操作性向上のために重量は、3.3kg 以下であること。
- 2-8. 全面耐荷重 310kg 以上であること。
- 2-9. FPD の各側面にセンターを示す LED を搭載していることまたは、簡単にセンターを認識できるような仕組みを有すること。
- 2-10. 内蔵メモリを搭載し、画像処理装置なしで撮影および最大 100 枚まで画像を一時的に保存する機能を有すること。
- 2-11. FPD 装置表面に抗菌コートを施しているまたは、抗菌剤を使用して抗菌可能であること。
- 2-12. FPD は、蛍光体材質に GOS 又は、CsI を用いた間接変換方式であること。
- 2-13. FPD の読取りグレーレベルは 16bit 以上であること。
- 2-14 画像処理コンソール端末は、10 インチ以上の液晶カラーディスプレイかつタッチパネルで操作する機能を有すること。
- 2-15 「患者属性入力」、「撮影／検査属性入力」および「画像の品質確認・最適化」が可能であること。
- 2-16 読取りデータに対し画像順を入れ替える機能を有すること。
- 2-17. 画像処理機能として、階調処理、周波数処理、マルチ周波数処理、ダイナミックレンジ圧縮処理、黒化処理、ノイズ抑制処理、グリッド除去処理を行う機能を有するまたは、同等の処理を有すること。

- 2-18. 本院の PACS へ有線・無線でネットワーク接続が可能で、DICOM Part14 に対応した階調処理をする機能を有すること。
- 2-19. 散乱線を解析しコントラストの改善を行える画像処理が行えること。
- 2-20. 保存した画像データに対して、トリミング、黒化処理、アノテーション、マーカー入力等を行う編集機能を有すること。
- 2-21. トリミング、黒化処理はメニュー毎に自動で処理する機能を有すること。
- 2-22. 任意サイズおよびフィルムサイズを自動トリミングする機能を有すること。
- 2-23. 本院既設の病院情報管理システム（以下、「HIS」という。）の中の放射線部門情報システム（以下、「RIS」という。）と連携し、患者属性情報、オーダ番号等を DICOM Modality Worklist Management の手順に従い取得すること。

<性能、機能以外に関する要件>

- 3. 設置については以下の要件を満たすこと。
 - 3-1. 本院の指定する場所に設置すること。
 - 3-2. 本院既設の一次設備以外に必要な電源設備、ネットワーク設備等がある場合は、本調達に含むこと。
 - 3-3. 機器の搬入、据付、配線、接続及び調整については、本院の診療業務に支障をきたさないよう
本院担当者との協議の上、その指示に従い適正に行うこと。
 - 3-4. 機器をネットワークに接続する場合は、その接続方法に関し本院担当者との事前協議のうえ、その指示に従うこと。
 - 3-5. 本院の HIS、RIS 等へのネットワーク接続および設定、調整を行うこと。
 - 3-6. 本調達機器の設置に当たっては、設置場所を十分確認の上搬入し、据付完了後、正常に動作するように調整すること。また、本院施設に損傷を与えないように十分注意すること。

- 4. 保守体制については以下の要件を満たすこと。
 - 4-1. 納入検査確認後 1 年間は、通常の使用により故障した場合の無償修理及び交換に応じること。
 - 4-2. 通常の使用で発生した故障の修理及び定期的保守点検を実施できる体制であること。
 - 4-3. 本院からの技術的な問い合わせに対し、適切かつ迅速に回答を示す体制であること。

- 5. 障害支援体制については以下の要件を満たすこと。
 - 5-1. 年間を通じて 24 時間連絡ができる体制であること。
 - 5-2. 障害時において、復旧のための通報を受けてから 24 時間以内に現場で対応できる

体制であること。

6. 教育訓練等については以下の要件を満たすこと。

- 6-1. 取扱説明に関する教育訓練は、本院が指定する日時、場所において無償で行うこと。
また、納入後において、本院担当者の変更等で新たに教育訓練が必要となった場合に対応すること。
- 6-2. 操作マニュアルを日本語版で 2 部以上提供すること。また、PDF のデータでも提供すること。

7. 納入期限

令和 6 年 6 月末日

8. その他

- 8-1. DICOM RT 規格による通信機能を有している機器について、コンフォーマンス・ステートメント（適合性宣言）を提出すること。
- 8-2. 本仕様内容の他に、供給者として当然行うべきことについては誠実にこれを行い、本仕様書に明記されていない事項または疑義が生じた場合には、速やかに 本院担当者と協議の上、その指示に従うこと。
- 8-3. 落札から納入までの間に装置の仕様変更やソフトウェアのバージョンアップがあった場合は、本院と協議の上、最新の仕様にて引き渡すこと。
- 8-4 契約書作成に係る費用、銀行振込手数料は受注者にて負担すること。